



県士会活動報告

令和6年8月～11月

担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程：2024/08/22

山形県士会の会長でもあり、山形県で一般社団法人リハビリテーションスタッフサービスを立ち上げ、地域支援事業中心に活躍されている松木信氏に講師を依頼して山形県の短期集中予防サービスについて講義頂きました。講義では、山形県のデータを元に短期集中予防サービスがどのような役割と機能を持つのかを解説頂きました。運動・口腔・栄養の一体的な実施やセルフマネジメント能力の向上が必要であること、作業療法士の役割などについて丁寧な解説がありました。リハビリテーションスタッフサービスは今後地域食堂の開設にも取り込まれる予定があるそうで、地域支援事業にとどまらず、地域共生社会というより広い枠で今後活躍が期待できると感じました。和歌山でも今後同様の事業が必要になってくると考えられ、参考になる点がたくさんありました。

担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程：2024/10/04

10月4日(金)にオンラインで第3回地域支援事業に資する人材育成研修「短期集中予防サービスの効果と課題」を行いました。OTが17名、他職種が9名参加されました。今回は、大阪府で活躍されている名倉和幸氏と浅田健吾氏に短期集中予防サービスにおけるセルフマネジメントの重要性と短期集中予防サービスで想定される課題と対処方法についてお話いただきました。セルフマネジメントと行動変容を起こすことの重要性は地域支援事業だけでなく、急性期、回復期の作業療法にも通じるものがあると感じました。今回の学びを次回の第4回地域支援事業に資する人材育成研修会「事例を通して地域支援事業を考える」にも活かし、充実した事例検討会にしたいと感じました。

担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程:2024/11/03

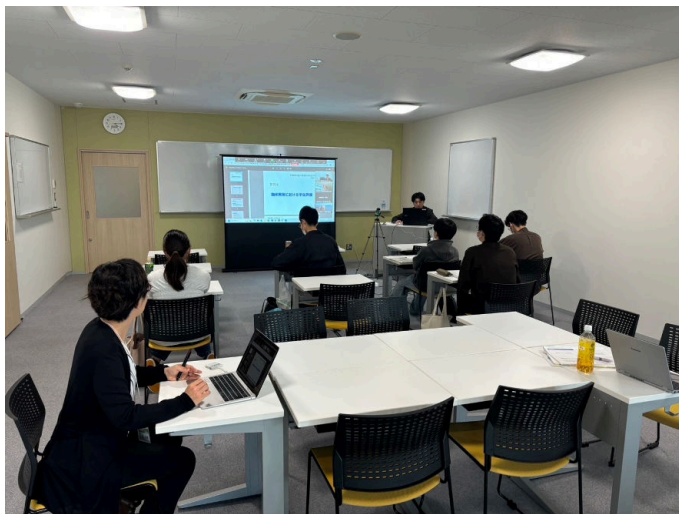
11月3日に第4回地域支援事業に資する人材育成研修会「事例を通して地域支援事業を考える」を開催しました。参加者は作業療法士が13名、市町村職員が2名でした。大阪府で使っているルーブリックというフレームに沿って地域ケア会議での助言を考える研修で、2事例を深く掘り下げて検討する内容でした。グループワークの最後はケアマネジャー役の浅田講師と市町村職員役の名倉講師に事例に関する助言を行なうという大変プレッシャーのかかる発表となり、各グループの発表者は冷や汗をかきながらの発表となりました。限られた情報から事例の生活課題を把握し、ケアマネジャーにわかりやすく伝えることがいかに難しいかを痛感しました。地域ケア会議で有効な助言を行なうにはスキルが求められ、スキルアップのためには事例検討を積み上げる必要性を再認識しました。来年度以降も事例検討会を継続していきたいと考えています。



担当部・委員会：臨床実習指導者講習運営委員会

日程：2024/11/02

2024年11月2日(土)-3日(日)にハイブリッド開催にて令和6年度臨床実習指導者講習会が開催されました。参加者は14名で、グループワークも会場WEBともに盛り上がりおりました。診療参加型実習についても以前よりも定着してきたかと思いますが、和歌山県に大学も2校増え、臨床実習施設や指導者はまだまだ必要です。まだ受講されていない実務経験4年以上の方はぜひ受講をお願いしたいと思います。



担当部・委員会：MTDLP推進委員会

日程：2024/11/22

今回、大阪保険医療大学の井口知也先生に研修会をお願いさせて頂きました。「作業」とは、そもそも何なにかを、先生の言葉で分かりやすく説明して頂きました。MTDLPの短所もありますが、長所についてもお話があり、明日からの臨床でも活かせる内容でした。参加者同士も話す場面があり、明るく楽しく学ぶことができました。



担当部・委員会：地域支援事業推進委員会

日程：2024/11/21

11月21日(木) 19:00~20:30にオンラインで地域ケア会議導入研修「地域ケア会議に参加してみませんか」を開催しました。講師は和歌山県士会地域支援事業推進委員会の児玉憲三氏と小倉由嵯氏でした。児玉氏より地域支援事業の概要と地域ケア会議について講義があり、その後2グループに分かれて事例検討を行いました。事例検討は大阪府士会の事例検討会で使われているルーブリックに即して行なわれました。ケアマネジャーへの具体的な助言まで考えるのは難しく、改めて事例検討の必要性を感じた研修でした。今回は、地域ケア会議参加未経験の会員がほとんどでしたが、積極的に参加したいという方もおり、収穫のある研修でした。